

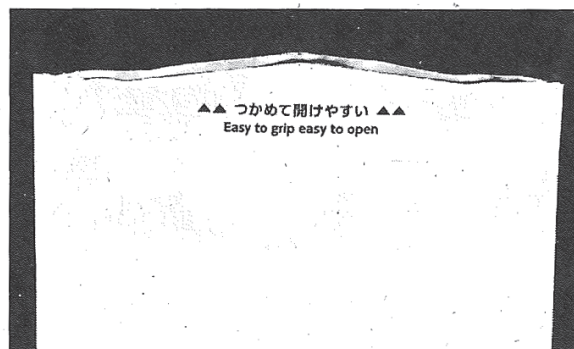
丸東産業

開口部を掴んで簡単開封

自動給袋機対応品など拡充

丸東産業（福岡県小郡市、☎0942・73・3626）はこのほど、フィルム袋の開封性向上へ開発品として自動給袋機対応タイプ「掴（つか）めるくんα（アルファ）」（特許出願中）の営業展開を開始した。充填の自動化対応を想定して製品化を実現。自動給袋機での作動も通常の充填速度で検証済み。今後、製品周知に力を注ぐ構えだ。

同社が提案し好評を博す「掴めるくん」は、開封時、レーザー部分に沿って開封することで袋の手前と奥に高低差のある「つかみ」部ができ、そこを掴むこ



「掴めるくんα」の提案開始

機械の「つまめ」が「掴めるくん」のレーザー部分にあたり破損するケースがあり、改善の要求が同社に寄せられた。これを受け同社では「つまめ」があたる部分を避けた新タイプ形状の「掴めるくんα」の開発に至った。

通常、スタンドパウチの商品は三方袋と違い、チャック側から内容物を充填する。しかし、その充填口を自動給袋機で開封する際に、その充填口を自動部

クの開閉が容易に行える。また、表面に2本、裏1本の異なる曲線形状のレーザー加工を施し、表裏のどちらからの開封でも掴み部ができる。用途や使用例では、食品、医薬品、化粧品、健康食品などが挙げられる。

同社では同時期に、「掴めるくん規格袋」も発売した。小ロット多品種や、テスト的に販売するため小ロットで購入したいといった要望に応えるもので、規格袋の構成はPET／透明蒸着PET／LDPE。サイズは「TOBI」が140×200ミで1枚1000枚入りとなっている。

とでチャック袋を開けやすくする、フィルム袋自体に掴み部を備える機能袋。今回、新たに自動給袋機対応タイプを加え、製品アイテムを拡充した。